

GRASS ROOTSに 名を刻め!

— RESPECTから始める冒険 —

その71 (R05.10.06)

～ 笑顔と感動の運動会 その5 ～

6年生の学級通信に掲載してあった保護者の感想を紹介します。あらためて、すばらしい最高の運動会であったことを実感しました。

見つけたよ! RESPECTにあふれる景色

【10月 5日 (木)】

小学校最後の運動会、何より本人がとても楽しみにしている姿が嬉しく、毎日本気で本当に手を抜かずに練習をくりかえす七頭舞を皆と一緒に踊る姿を見られる事をととても楽しみにしていました。しかし、始まってみると想像以上。「〇〇ちゃん、こんなにしっかりはっきり大きな声でマイクの前に立てるなんて。」「〇〇君、今日は堂々としていてめちゃくちゃかっこいい。」他の学年の種目でも、先生からの指示でなく自分達で考えて動く姿や、気付くとマイクでも使っているかなと思うほど大きな声で声援をおくる。

応援団の声が聞こえてくる。どこを見ても6年生が大活躍していて、そして何より皆がとても楽しそうにしている姿が印象的な運動会でした。ちなみに、運動会が終わってもスーパー等で思わず七頭舞を踊ってしまうほど振りが身体にしみこんでいるようです。

「まだみんなでおどりたい。」と言っていました。大切な思い出ができました。

【10月 5日 (木)】

家で練習している風景を見ていたので、先生達の笛と太鼓に合わせて踊っている姿はとても感動的でした。

徒競走では、走る前の姿を見て、走っている姿を見て、目頭が熱くなりました。最後の運動会ということもあって、成長を感じると共にさびしさもありましたが、最後まで笑顔で頑張ってくれていたのが最高の思い出になったと思います。6年生のみんな、お疲れサマでした。

【10月 5日 (木)】

小学校最後の運動会、思っていたよりもずっと成長を感じました。中野七頭舞、こんなにもしっかり力強く踊る年齢になっていたのかと驚きました。

自分達の種目の他にも6年生は色々としていて、ただ参加するだけではなく、役割を持ち、こなしていく姿も見れて良かったです。大変お疲れ様でしたと言いたいです。

でも、これでもう最後だったんだと思うと、やはりさみしくなってしまう。